



慶應義塾大学出版会 新刊案内

2025

4月



平積み

印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



福澤諭吉の思想的源泉 J・S・ミルとの対話を中心として

安西敏三（甲南大学名誉教授）〔著〕

ココに注目！

- ・安西教授の長年にわたる福澤研究の成果を発信。
- ・ジョン・スチュアート・ミルとの対話を軸に、福澤諭吉の思想的源泉に迫る。

福澤諭吉の思想的バックボーンを、ジョン・スチュアート・ミルとの対話を軸に縦横無尽に深掘りする、知的興奮に満ちた講演録。福澤諭吉が西洋思想をいかに自家薬籠中のものとしていったのかを探る、安西教授熟練の知的検証作業。

税込予価 **2,640 円** 四六判並製／272 頁
ISBN 978-4-7664-3023-3 C3010

対象：一般（日本近代史／福澤諭吉の思想に関心のある層）

部数：★★★

配本予定：4月上旬

類書 渡辺浩「明治革命・性・文明」（東京大学出版会）

【主要目次】

まえがき

一 はじめに

二 実学（サイエンス）と技術（アート）

三 功利論（ユーチリタリヤニズム）と正義

四 自由（リベルチ）と独立（一）——「一身独立」

五 自由（リベルチ）と独立（二）——「一国独立」

六 おわりに——思想的位相

福澤諭吉とJ・S・ミル関連年表

あとがき

人名索引



なぜ子どもの将来に両親が重要なのか (仮)



家族格差の経済学

メリッサ・S・カーニー (メリーランド大学ニール・モスコウィッツ経済学教授) [著] /

鹿田昌美 (翻訳家) [訳]

📌 ココに注目！

- ・両親の存在が子どもの将来の収入や生活に大きく影響している。
- ・80年代以降の米国のデータから一人親家庭の激増や出生数減少を解明。
- ・経済格差に家族の問題が大きく関係していることを示す。

米国の80年代以降のデータを分析することで、一人親の激増と出生数の減少、また子どもの将来の所得や生活に家族の形が大きく関係していることが判明した。センシティブな問題ながら、日本における経済格差対策、子育て支援策等にも大きなヒントを与える1冊。

税込予価 **3,520 円** 四六判並製 / 288 頁

ISBN 978-4-7664-3019-6 C3033

対象：一般読者 (格差、または結婚や子育ての問題に関心をもつ層)

部数：★★★★★

配本予定：4 月上旬

📖 類書 山口慎太郎著「子育て支援の経済学」(日本評論社)

【本書刊行にあたって筆者より】

近年、本書の執筆プランについて他の学者に話したときに最も多い反応は「内容については全面的に同意する——でも、本当にあなたはこれを一般に向けて発信して大丈夫なのか？」というものだ。私もその点については大いに悩んだ。ノーであり、イエスだ。「ノー」なのは、こういった問題は、学会の場で、同じデータとエビデンスを見ながら合理的かつ(おおむね)淡々と分析しながら話し合うほうが、はるかに快適であるからだ。しかし、それでも「イエス」なのは、学者がこうした傾向を認識し、妥当な政策や政府の対応について熱心に話し合っても、社会の変化は学術誌のページや識者の会議のテーブルの上では起こせないからだ。社会の変化は、一般の人々が問題に取り組み、政策立案者が事実とエビデンスを手にしていないときに起こる。私は、このテーマについて長年にわたり研究し、アカデミックな場で論じてきたが、そろそろ、数々のエビデンスと周辺情報を広く聴衆に伝える時期が来たと感じているのだ。

(本書序文より抜粋)

※本書は、2025 年 3 月号にて、4 月イチ押し新刊としてご案内を差し上げております。注文が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。

部数の★は、1 つで約 500 部を表します。



日本外交をどう考えるか(仮)



安保・歴史問題から沖縄まで

波多野澄雄(筑波大学名誉教授/アジア歴史資料センター長)・宮城大蔵(中央大学法学部教授)[編著]

🔍 ココに注目!

- ・現代日本外交をとらえるため重要な論点を第一人者たちが執筆。
- ・日米安保、沖縄問題、中国や韓国などとの関係のほか、戦後から現在までの流れをベースにわかりやすく解説する。
- ・若い読者に向け、未来を見通すためのヒントとなる一冊。

編著者の波多野澄雄氏、宮城大蔵氏をはじめとする日本外交研究の第一人者たちが、日米安保、沖縄問題、中国・韓国などとの関係、経済問題といった重要テーマをわかりやすく解説。戦後日本がたどってきた過程を振り返り、若い読者に未来を見通すためのヒントを与える必読書。

税込予価 **2,640 円** 四六判並製/224 頁

ISBN 978-4-7664-3026-4 C0031

対象：一般(現代史/日本政治史に関心のある層)

部数：★★★★★

配本予定：4月中旬

📖 五百旗頭真編『戦後日本外交史 第3版補訂版』(有斐閣)

【主要目次】

はじめに——戦後～冷戦後の世界と日本 宮城大蔵

第1章 【安全保障】日米安保から日米同盟へ

第2章 【国内政治と外交】日中関係をめぐる政治と外交

第3章 【アジア外交】日本はアジアとどう向き合ってきたか

第4章 【歴史・領土】歴史問題と領土問題のゆくえ

第5章 【経済と外交】戦後経済外交の光と影

第6章 【沖縄と基地問題】沖縄の戦後と冷戦後が意味するもの

第7章 【外交史への道しるべ】戦後外交史を学ぶ方法——ブックガイドと歴史的資料の利用法

おわりに——日本外交はどこへ向かうのか 波多野澄雄

関連既刊

『入門講義 戦後日本外交史』

添谷芳秀 著

定価 **2,640 円** A5 判並製/332 頁 ISBN978-4-7664-2583-3 2019 年 3 月

『入門講義 安全保障論 第2版』

宮岡勲 著

定価 **2,750 円** A5 判並製/266 頁 ISBN978-4-7664-2931-2 2023 年 11 月



重症心身障害の子どもの実態把握ガイド

「受止め・対応リスト」とその「評価シート」の活用

徳永豊（福岡大学人文学部教授）〔編著〕

🔍 ココに注目！

- ・重症心身障害児の学びや生活の前提となる実態把握に向けた実践書。
- ・障害が厳しい子どもの「覚醒」「注意の芽生え」等を手がかりに、子どもにとっての「外界とのつながり」を評価する。
- ・本書のために作成した「受止め・対応リスト」と「評価シート」をダウンロードして利用可能。

表出や表現が微弱な重症心身障害児の「実態把握」に向けて、具体的方法を解説する実践ガイド。著者が提唱する「受止め・対応リスト」と「評価シート」を用いたアプローチを詳述し、一人ひとりに適した学びや生活を実現するための指針を提示する。特別支援教育関係者必携の一冊。

税込予価 **1,430 円** A5 判並製／88 頁

ISBN 978-4-7664-3027-1 C3037

対象：特別支援学校の教員／医療・福祉関係者

部数：★★★★★

配本予定：4 月上旬

預告 富田朝太郎「富田分類から学ぶ 障害の重い子どもへのコミュニケーション支援」(学苑社)

【営業部からのおすすめコメント】

現場教員から高い支持を受ける『障害の重い子どもの目標設定ガイド 第2版』（2021、2刷 8000部）や『障害の重い子どもの発達理解ガイド』（2019、3刷 7500部）に続く一冊。特別支援学校への指導実績が豊富な著者が開発したチェックリストとシートが掲載されている点が最大のポイントです。関連書と併せた展開をぜひご確認ください。（乙子）

関連既刊

『障害の重い子どもの目標設定ガイド 第2版』

授業における「S スケール」の活用』

徳永豊 編著

定価 **1,100 円** A5 判／並製／88 頁 ISBN 978-4-7664-2732-5 2021 年 3 月

『障害の重い子どもの発達理解ガイド』

教科指導のための「段階意義の系統図」の活用』

徳永豊・田中信利 編著／立岡里香 著

定価 **1,100 円** A5 判／並製／88 頁 ISBN 978-4-7664-2608-3 2019 年 7 月

『特別支援教育のカリキュラム・マネジメント』

段階ごとに構築する実践ガイド』

一木薫 著

定価 **1,210 円** A5 判／並製／96 頁 ISBN 978-4-7664-2756-1 2021 年 7 月